

本県初となる外国クルーズ船寄港による地域経済の活性化 —茨城港常陸那珂港区(ひたちなか市・東海村)—

茨城港常陸那珂港区は、コンテナ貨物やRORO貨物(建設機械等)の物流拠点であるとともに、大型クルーズ船の受入れ拠点であり、2019年4月には、本県初となる外国クルーズ船「セブンシーズマリナー」が寄港しました。

※ RORO貨物・・・トラック等に積載されたまま船積みされ運ばれる貨物のこと

～クルーズ客が港から県内観光地へ～



歓迎イベントの様子



セブンシーズマリナーが初寄港

セブンシーズマリナーとは

バハマ籍のクルーズ船。全客室がスイート仕様、バルコニー付きのラグジュアリー客船。
クルーズ料金は、1日あたり \$500～\$1,200 (55,000円～132,000円 ※1ドル=110円換算)

全長216m、幅28.8m、乗客定員 700人 客室350室



全長 216 m

クルーズ船寄港による効果

- 寄港地観光ツアーによる観光地や地元商店街での観光消費の拡大
- 寄港を通じた本県の魅力度向上及び寄港後の来県促進

